

提案の
概要



A. プロジェクト全体の概要

新潟市内に位置する大規模商業施設。豊富な材積量を使用した建築物とし、地球環境の低炭素化に貢献することも店舗のコンセプトとなっている。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- 建物全体の木造化。
- 厚物壁板工法と軸組工法および木質ラーメン工法のハイブリッド構造。

C. 提案のアピールポイント

- 豊富な材積量を使用した建築物とし、地球環境の低炭素化に貢献する。
- 丸太組構法の仕様、性能はそのままに、厚物壁板工法化することによって、木質ラーメン構法との併用を容易にすると共に丸太組構法のデメリットを解消する。



東側から見る外観

評価の
ポイント



木造2階建ての店舗、食品加工・製造工場、レストラン等の複合施設の計画。建物全体の木造化、厚物壁板工法と軸組工法および木質ラーメン工法のハイブリッド構造となっている。木材を豊富に使用しており、地球環境の低炭素化に貢献することが期待できる。丸太組構法の仕様・性能はそのままに、厚物壁板工法化することによって、木質ラーメン工法との併用を容易にするとともに、丸太組構法部材の鉛直方向の変形を解消することができる。丸太組構法としては大きな建物であり、地域での話題性や波及効果が期待できる。



先端性・先進性

- 丸太組構法を厚物壁板工法として、軸組工法化することにより、木質ラーメン工法とのハイブリッドを可能とする。
- 壁耐力を実験により取得し、46条2項ルートによる設計を行った。

波及性・普及性

- 構造解析的には軸組工法の許容応力度設計法、および木質ラーメン設計法が使用でき、取り扱いが容易である。
- 木造の小売店舗として、国内でも有数の大規模建築実例となり、木材の積極利用をアピールできる。

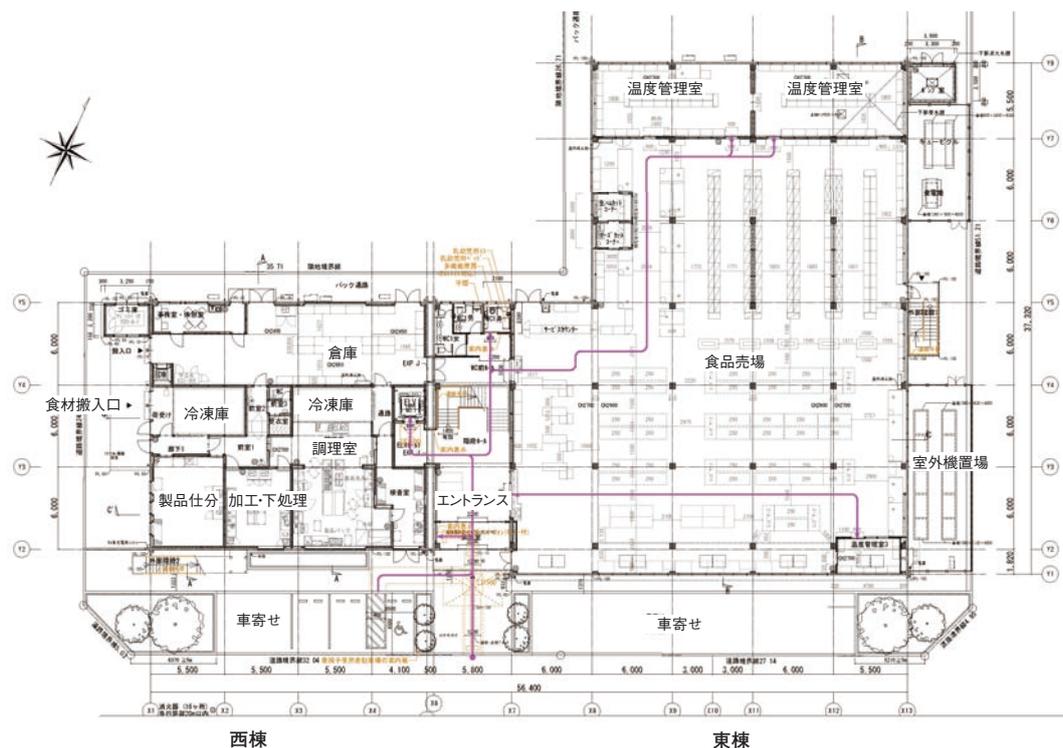
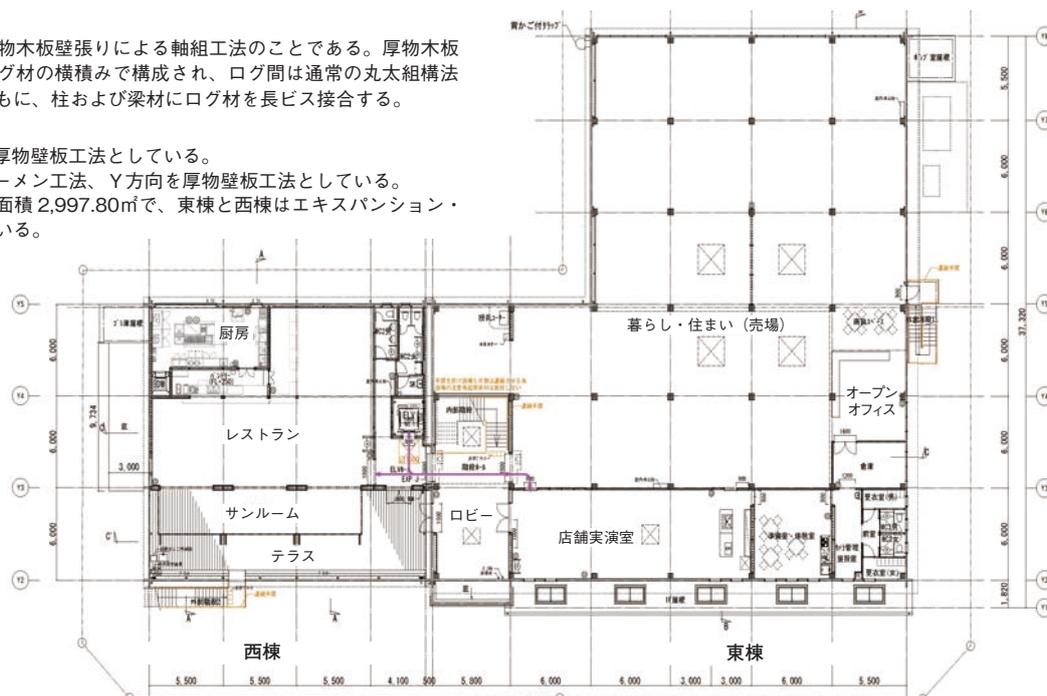
使用する木材、木質建材の特徴

- 丸太材には、フィンランドのパインログ材を使用。
- 木質ラーメンには、流通材を使用し、コストダウンを図る。

厚物壁板工法とは、厚物木板壁張りによる軸組工法のことである。厚物木板壁は丸太組構法同様のログ材の横積みで構成され、ログ間は通常の丸太組構法同様にダボ接合するとともに、柱および梁材にログ材を長ビス接合する。

建物構造としては、

- ・西棟はX、Y方向共に厚物壁板工法としている。
- ・東棟はX方向を木質ラーメン工法、Y方向を厚物壁板工法としている。
- ・規模は、2階建て延床面積2,997.80㎡で、東棟と西棟はエキスパンション・ジョイントで接続している。





南側からの外観



1階食品売場



2階、カフェ



2階、暮らし・住まいの売場